



農福連携の取り組み

市では、農業分野における新たな働き手の確保につながるだけでなく、障がい者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すことが期待できる「農福連携」を推進しています。

このたび、農林水産省をはじめとする関係省庁等が実施する「ノウフク・アワード 2024」の優秀賞を自治体として全国で初めて受賞しました。

市のこれまでの取り組み

令和元年度～2年度

りんご黒星病の耕種的防除作業を、障がい福祉事業所と連携して実施。



令和3年度

障がい者が、りんごの生産現場で就労する際の課題や導入効果を検証する「農福連携モデル事業」を実施。



令和4年度

新たに農福連携に取り「お試しノウフク」をアルと農福連携カレンダーと農福連携実践マニュアルを作成。



組む農業者を支援する開始。農福連携実践マニュアルを作成。

令和5年度

すでに農福連携に取り組んでいる人が、工夫した点などを発信する「シェアノウフク」を開始。



令和6年度

新たに教育現場を加えた農福学連携として、不登校傾向等にある児童生徒や特別支援学校生徒に対する農作業体験などを実施。



フレンドシップルームの児童生徒が作成し、自分たちが作業する樹に取り付けた看板



受け入れ農業者の声

福祉事業所の利用者に作業をお願いすることで、他の作業が並行してできるので、大変助かる。

りんご生産をする上で、なくてはならない存在。

福眞 睦城さん

りんごの農作業体験が子どもたちにとって何かのきっかけになれば嬉しい。

工藤 貴久さん

作業にあたっては、福祉事業所の職員がサポートしてくれるため、農業者の負担は少ない。

今後は、福祉事業所の利用者が安心して作業できるよう、バリアフリー化を進めたい。

小林 慎之介さん

生徒には、一人一人得意分野と不得意分野がありますが、収穫が苦手でもカゴの運搬を担当するなど、誰でも作業に加わることができ、それぞれの生徒に合った役割を担ってくれて感謝しています。

小山内 友勝さん

おわりに

ご協力いただいた皆さんのおかげで、各賞を受賞することができました。

今回の受賞を励みに、弘前の農業が基幹産業として持続的に発展していくように、農繁期の人手不足の解消を含めたさまざまな課題に、積極果敢に取り組んでいきます。

広がってます
みんなで創る 弘前の農業。